

事務所案内図



奈良県東部農林振興事務所

- 総務企画課 電話 0745-84-9500
FAX 0745-84-2127
- 森林共生推進課 電話 0745-84-9501
- 農村地域振興課 電話 0745-84-9502
〒633-2221 宇陀市菟田野松井486-1 菟田野地域事務所3階
榛原駅より約9km【路線バス(松井西バス停)17分・徒歩5分】
- 農業振興課 電話 0745-82-3248
FAX 0745-82-1118
〒633-0227 宇陀市榛原三宮寺125 大和高原農業研究所内
榛原駅より約6km【路線バス(母里南バス停)11分・徒歩4分】

奈良県東部農林振興事務所



組織と仕事

総務企画課

総務企画係

- ◆ 庶務一般、入札・契約事務
- ◆ 事業の企画調整、広報

農業振興課

担い手・農地マネジメント係

- ◆ 担い手の育成・確保と農地マネジメントの推進
- ◆ 地域資源を活用した農村地域の活性化

農産物ブランド推進係

- ◆ 県産農産物の生産振興
- ◆ 奈良の食の魅力づくりと県産農産物の戦略的な販売の推進

森林共生推進課

森林共生推進係

- ◆ 林業技術の普及指導と特用林産物の活用
- ◆ 間伐実施と県産材出材の推進
- ◆ 森林環境教育への取組
- ◆ 林道・作業道等の基盤整備
- ◆ 治山による山地災害対策

農村地域振興課

地域支援整備係

- ◆ 農業生産基盤の整備
- ◆ 農村生活環境の整備
- ◆ 農地等の保全と管理



統計情報

市村名	経営耕地面積 (a)	森林面積 (ha)	農家数 (戸)	林家数 (戸)	認定農業者数 (人)	うち法人
宇陀市	80,900	18,321	1,672	1,091	54	12
山添村	30,000	4,109	526	435	39	6
曾爾村	4,700	4,130	171	219	11	1
御杖村	9,500	7,009	219	248	17	2
管内計	125,100	33,569	2,588	1,993	121	21

注)経営耕地面積、農家数、林家数:2020年農林業センサス
森林面積:令和4年度奈良県林業統計(R5.4.1現在)
認定農業者数:東部農林振興事務所農業振興課調べ(R8.4.1.現在)

国営総合農地開発事業	農地造成面積(ha)	区画整理面積(ha)	対象地域
大和高原北部	355	355	宇陀市(室生)、山添村、奈良市、天理市
大和高原南部	317	242	宇陀市(大宇陀、菟田野、榛原)、桜井市

東部農林振興事務所管内図



管内の概要

1) 地域の概要

管内は県の北東部に位置し、宇陀市、山辺郡山添村、宇陀郡曽爾村、宇陀郡御杖村の1市3村で構成されています。北部地域は高原状の地形が続き、南部地域は宇陀盆地と周辺の宇陀山地よりなり、豊かな自然環境に恵まれています。気候は年平均気温13.2℃、年間降水量約1,500mmであり、夏季は比較的冷涼で、冬季は降雨が少ない地域です。

2) 農業と基盤整備

都市近郊に位置するため、兼業農家が多く、農産物の直売を通じて都市との交流が活発です。管内全域で、中山間地域ならではの昼夜の寒暖差により良質米の生産が行われています。南部では、冷涼な気候を活かし、ホウレンソウ、ミズナやコマツナなどの軟弱野菜および夏秋トマトの施設栽培が盛んです。そのほか、黒大豆、小豆、ブルーベリーやダリアなどの花き、大和当帰などの薬草の栽培が行われています。北部では、茶の栽培が盛んで、「大和茶」の主産地となっています。また、豊かな自然環境と大和高原の恵まれた気候から、有機農業に取り組む生産者も多く、有機農業の推進に向けた取組を展開しています。

また、農地造成や区画整理によって農業生産基盤の整備を進めた耕地では、水稻・茶・高原野菜・花き類等を中心とした作物が栽培されており、安定した収穫を確保するため、農業用ダムや用排水の整備を行うとともに、農作物の流通の合理化を目指し、農道整備を行っています。併せて、過疎化・高齢化に伴って生じる耕作放棄地の解消に向けて、比較的小規模なほ場整備や水路整備を行い、農村資源を活用した農村地域の活性化に取り組んでいます。

3) 林業と山地の保全

管内の森林は、ほとんどが民有林で、県下でも人工林化の進んだ地域です。人工林の1/2は60年生以下の林分で、除間伐等の保育を必要としています。宇陀地域は、管内でもとりわけ林業の盛んな地域であり、吉野林業地帯に隣接していることから、技術的にもその影響を強く受け、一部の大規模森林所有者は優良大径材生産を目標とした林業経営を行っています。

県産材の安定供給を図るためには、地域内の林内路網整備することにより、搬出コストを低減させることが不可欠です。そのため、森林組合等の事業体を中心となって林内路網の整備による集約化施策の推進を図るとともに、林業の担い手育成にも取り組んでいます。

一方では、治山事業により森林の多面的機能を維持し、山地に起因する災害を抑制することにより、県民の生命や財産を保全する、災害に強い安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図っています。